

【 注射 】

786 アドレナリン注射液（アナフィラキシー）の処方量について

《令和8年1月30日》

○ 取扱い

小児におけるアナフィラキシーに対するアドレナリン注射液（エピペン注射液 0.15mg）の処方量は、原則として2管まで認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

アナフィラキシーは急速に発現し、死に至る場合がある重篤な全身性の過敏反応である。エピペン注射液は、添付文書の用法・用量に「アドレナリンとして 0.01mg/kg が推奨用量」である旨、また、アナフィラキシーガイドライン 2022 には「アドレナリンの最大投与量は、成人 0.5 mg、小児 0.3mg」と記載されており、エピペン注射液 0.15mg 規格を2管処方することは、臨床的有用性が高いと考えられる。

以上のことから、小児におけるアナフィラキシーに対するアドレナリン注射液（エピペン注射液 0.15mg）の処方量は、原則として2管まで認められると判断した。